

下水道雨水浸透施設技術マニュアル（資料編）の改定に関する共同研究

全体期間

1996.6～1996.12

（目 的）

近年の都市化の進展に伴い、市街地における浸透面積が減少し、雨水流出量が増大することによる「都市型水害」が発生している。このような状況の中で、雨水の流出量を抑制し、地下水かん（涵）養を図るとともに、合流式下水道の越流水による汚濁負荷の削減を目的とした下水道雨水貯留浸透事業が平成6年度に創設された。

一方、本機構では平成5年度から雨水浸透施設に関する研究を進めており、平成6年度までにその成果を「下水道雨水浸透施設技術マニュアル」（以後、技術マニュアルとする）として「設計編」、「公道編」、「資料編」の3編を作成した。

この後、建設省が平成7年度に実施した下水道雨水浸透施設に関する全国アンケート結果より得られた雨水浸透事業促進につながる知見（浸透能力の算定手法、維持管理に関する項目（頻度）及び浸透施設の構造等）をもとに、「下水道雨水浸透施設設置の手引き（案）」（以後、手引き（案）とする）が平成8年度に策定された。

このため本機構では、技術マニュアルの充実を図るとともに、同手引き（案）の策定に合わせ、内容構成の整合と最新の技術的な知見を盛り込んだ「下水道雨水浸透施設技術マニュアル（本編）」を作成した。

本研究は技術マニュアル（本編）との整合を図り、内容の充実を目的として、平成6年度に作成された技術マニュアル（資料編）の改定作業を行ったものである。

（結 果）

1. 構 成

浸透施設を「公共ます編」（公道または一般敷地内に設置される公共ます等を対象）と「排水設備編」（公共ます等以外の一般敷地内に設置する雨水浸透施設）に区分し、整理・編集した。

2. 研究対象施設

1994年度版技術マニュアル（資料編）作成以降の新しい浸透施設について検討を行った。

3. マニュアルの作成

上記の検討を受けて、諸元一覧表及び掲載図面を更新した。なお、掲載図面は製品詳細図と施工図に区分し、各図題には関連する図面の頁を併せて掲載した。

共同研究者：財団法人 下水道新技術推進機構

エバタ株式会社、小沢コンクリート工業株式会社、積水化学工業株式会社

研究担当者：前田 正博、千葉 恭人、石川 泰裕、木内 悟

キーワード

雨水浸透